令和８年度

第１回山梨県文学館協議会資料

令和８年８月２８日（金）

山梨県立文学館

資料目次

【参考資料】

山梨県文学館協議会委員名簿　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

山梨県附属機関の設置に関する条例及び条例施行規則（抜粋）・・・・・　２

組織図（文学館及び指定管理者）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

山梨県立文学館の観覧者数の推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

観覧者数の目標と実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

文学館の利用者　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

【議事資料】

報告事項　文学館の事業について

・文学館学芸課、資料情報課関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

・指定管理者関係　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０

文学館協議会委員名簿

任期：令和7年9月29日～令和9年9月28日

氏　名	役　職	出身分野（勤務先等）	
おちあい　なおき 落合　直樹	やまなし観光推進機構理事長	学識経験	（地域振興・観光）
こいしかわ　まさふみ 小石川　正文	健康科学大学特任教授、元文学館学芸幹	学識経験	（教育）
すどう　れいこ 須藤　令子	山梨県書店商業組合　理事	学識経験	（地域振興・書店）（有）朗月堂書店
たかやま　みゆあ 高山　珠逢	公募（大学生）	家庭教育	
つるた　くみこ 鶴田　久美子	公募（在家庭）	家庭教育	文学館協力会会員
にしだ　はるか 西田　遙	NPO法人河原部社理事長	社会教育	（地域振興・NPO）
はせがわ　ちあき 長谷川　千秋	山梨大学教育学部長	学識経験	（大学教育）
ふしみ　あや 伏見　彩	甲府青年会議所専務理事	社会教育	（地域振興・商業）
ふじはら　ちづる 藤原　千鶴	県高等学校長協会代表	学校教育	富士河口湖高等学校
ふるや　たかき 古屋　孝樹	テレビ山梨　報道制作局長	学識経験	（報道）
ほりぐち　みちよ 堀口　美千代	山梨中央銀行金融資料館館長	学識経験	（民間博物館）
みしば　ただひろ 三柴　忠宏	日本放送協会甲府放送局 コンテンツセンター長	学識経験	（報道）
やざき　しげお 矢崎　茂男	山梨文芸協会会長	学識経験	（文芸）
やまだ　しげゆき 山田　茂之	県公立小中学校長会代表	学校教育	新紺屋小学校
やまもと　くみこ 山本　久美子	山梨日日新聞社論説委員会部長	学識経験	（報道）

※50音順

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条　この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担任事務）

第二条　執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担任事務欄に掲げるとおりとする。

２～４　略

（組織）

第四条　附属機関は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

２　委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

３　委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

（会長等）

第五条　附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

３　会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

５　副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条　附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

２　会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。
３　会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（部会等）
第七条　附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

（委任）
第九条　この条例に定めるもののほか、附属機関の担任事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）
一　知事の附属機関

附属機関	担任事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県文学館協議会	博物館法第二十三条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以内	一　学校教育の関係者 二　社会教育の関係者 三　家庭教育の向上に資する活動を行う者 四　学識経験のある者	二年
山梨県立文学館専門委員会	山梨県立文学館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施する事業に関する調査審議に関する事務	六人以内	一　学識経験のある者 二　優れた識見を有する者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条　この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠の委員の任期）

第二条　委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長等）

第四条　条例第五条第一項の規定により、附属機関（次に掲げる附属機関を除く。）に会長を、次に掲げる附属機関に委員長を置く。

一～十　略

※次に掲げる一～十の附属機関に文学館協議会は入っていないため、会長を置く。

２　条例第五条第一項の規定により副会長を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる副会長の定数は、次の表のとおりとする。

※次の表に文学館協議会はないため、副会長は置かない。

（定足数の特例）

第五条　条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県文学館協議会	過半数

（資料の提出等の要求）

第八条　附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

（意見の陳述）

第九条　関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に

関して意見を述べることができる。

（庶務）
第十二条　附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

（委任）
第十三条　この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮つて定める。

〇博物館法（抜粋）

（博物館協議会）
第23条　公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。
2　博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第24条　博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあっては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会（地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和三十一年法律第百六十二号）第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあっては、当該地方公共団体の長）が、地方独立行政法人の設置する博物館にあっては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

第25条　博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあっては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあっては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

文 学 館 組 織 図

令和8年8月1日現在

所属名	県立文学館			
正規職員	短時間再任用	特別職非常勤職員	会計年度任用職員	合計
11（兼3）	0	1	9（兼2）	21（兼5）

※（ ）は外数、協力会職員は数に含まず

特別職	館　長	三枝　昂之	
兼	副館長	和光　達夫	
	次　長	深澤美代子	
	学芸幹	中野　和子	学芸部門総括、専門委員会、やまなし文学賞総括

総務課

課　長（事務取扱）	深澤美代子	課の総括 文学館協議会

	職　名	氏　名	主たる業務
兼	副主幹 リーダー	武田　強	担当の総括 予算管理
兼	主事	雨宮　花	会計・経理 旅費・物品
兼	会計年度任用職員	小尾　祐子	職員給与等 共済組合、互助会
	会計年度任用職員	窪坂　修	業務補助
兼	会計年度任用職員	近藤　直也	予算管理 業務補助

※副館長及び総務課職員は美術館本務で文学館と兼務
※次長は文学館本務で美術館と兼務

学芸課

課　長（事務取扱）	中野　和子	課の総括 企画展等の企画、調整

学芸担当

職　名	氏　名	主たる業務
指導主幹	高室　有子	特設展・常設展の実施、やまなし文学賞
指導主幹	保坂　雅子	特設展・常設展の実施、やまなし文学賞
学芸員	伊藤　夏穂	特殊資料の整理公開、企画展・常設展の実施
学芸員	進　実来	特殊資料の整理公開、常設展の実施
会計年度任用職員	佐藤　明子	特殊資料の整理公開
会計年度任用職員	成島　由季子	ボランティアの育成・指導等
会計年度任用職員	松井　あすか	業務補助

教育普及担当

職　名	氏　名	主たる業務
主幹 リーダー	内藤　健	担当の総括 学校教育・生涯学習機関との連携・協力、教育普及事業
主幹	遠藤　優綾	学校教育・生涯学習機関との連携協力、教育普及事業
会計年度任用職員	島内　知彦	教育普及事業事務補助

文学館協力会

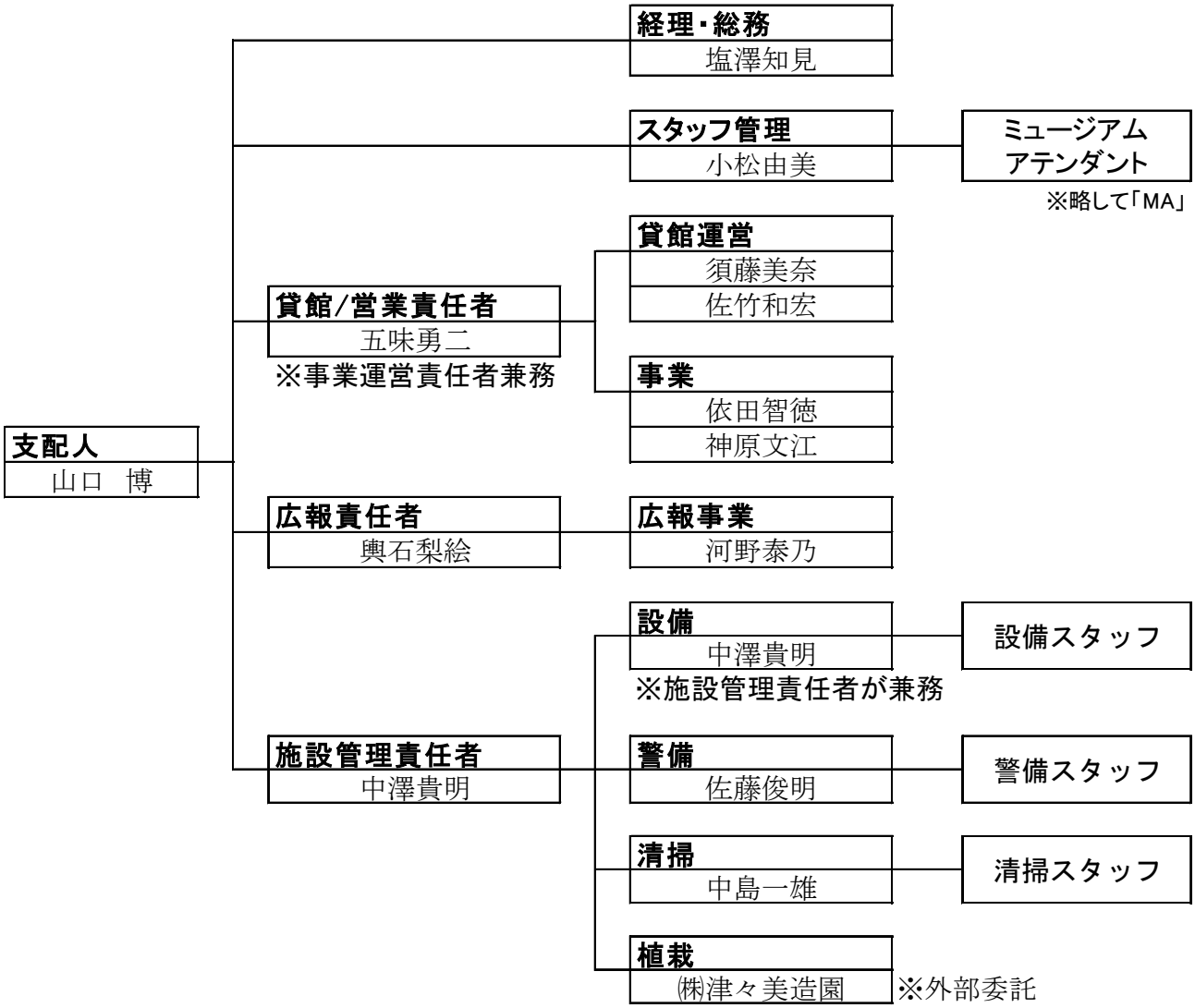
職　名	氏　名	主たる業務
協力会職員	千國　ちふみ	協力会業務

資料情報課

課　長	市川　直子	課の総括 購入資料の選定等

職　名	氏　名	主たる業務
副主幹 リーダー	小林　和美	担当の総括 閲覧室の企画・運営
主査	長谷部　友子	文献検索システムの管理、逐次刊行物の受入・管理
会計年度任用職員	内藤　るか	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度任用職員	加藤　崇	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度任用職員	有野　由莉香	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度任用職員	佐野　亜美	資料等の整理 閲覧室カウンター業務

R8年度　指定管理組織体制　　R8.8.1現在



文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展	企画展	合計	特設展	新収蔵品展	
H1	34	10,008	42,544	52,552	―	―	
2	298	79,124	20,233	99,357	8,785	―	
3	296	59,616	22,059	81,675	31,515	―	
4	292	46,945	21,047	67,992	18,802	2,831	
5	291	41,812	8,271	50,083	30,016	―	
6	290	44,279	29,874	74,153	4,220	6,954	
7	294	35,409	14,885	50,294	7,080	1,059	
8	294	31,536	16,804	48,340	5,490	2,865	
9	291	29,730	8,205	37,935	7,206	12,432	
10	293	32,209	15,433	47,642	4,535	870	
11	296	20,652	9,832	30,484	4,202	1,093	
12	299	19,258	7,786	27,044	3,087	1,044	
13	225	17,901	10,259	28,160	3,207	859	
14	301	19,487	8,805	28,292	4,013	2,879	
15	302	18,641	8,535	27,176	1,947	10,980	
16	302	18,117	12,790	30,907	2,862	2,369	
17	303	15,008	7,232	22,240	1,393	2,273	
18	311	16,084	7,116	23,200	4,138	1,834	
19	311	19,676	9,795	29,471	4,100	2,667	
20	307	14,908	9,416	24,324	2,909	2,313	
21	295	19,374	13,993	33,367	6,034	―	
22	307	21,085	17,983	39,068	―	2,958	
23	311	17,280	8,371	25,651	4,813	2,403	
24	311	24,660	4,641	29,301	15,077	―	
25	306	23,749	5,620	29,369	13,170	1,880	
26	308	41,209	39,356	80,565	10,309	2,504	
27	310	18,763	4,758	23,521	8,356	2,943	
28	306	18,358	6,315	24,673	7,881	2,691	
29	304	22,121	4,121	26,242	12,242	2,113	
30	303	19,736	4,698	24,434	9,158	3,186	
R1	274	22,538	11,466	34,004	10,488	1,163	
R2	258	15,591	13,628	29,219	2,760	―	
R3	273	13,548	5,599	19,147	3,714	1,979	
R4	212	16,336	4,734	21,070	9,485	―	R4年12月1日～R5年4月30日 空調工事の為臨時休館
R5	279	21,300	20,704	42,004	7,569	2,950	4月1日～4月30日臨時休館
R6	303	16,662	3,810	20,472	6,623	2,312	
R7	303	18,784	7,207	25,991	6,145	2,120	
R8	106	8,533	8,966	17,499	3,123	―	7月末までの実績
計	10,699	950,027	476,891	1,426,918	286,454	86,524	

令和8年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	27	1,358	50
5	27	2,019	75
6	25	1,372	55
7	27	3,784	140
8			
9			
10			
11			
12			
1			
2			
3			
計	106	8,533	81

前年同期比　140.6%

令和7年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	27	1,227	45
5	27	1,774	66
6	25	1,725	69
7	27	1,343	50
8	28	2,018	72
9	25	1,629	65
10	27	2,180	81
11	26	3,318	128
12	22	476	22
1	20	462	23
2	23	949	41
3	26	1,683	65
計	303	18,784	62

7月まで	106	6,069	57

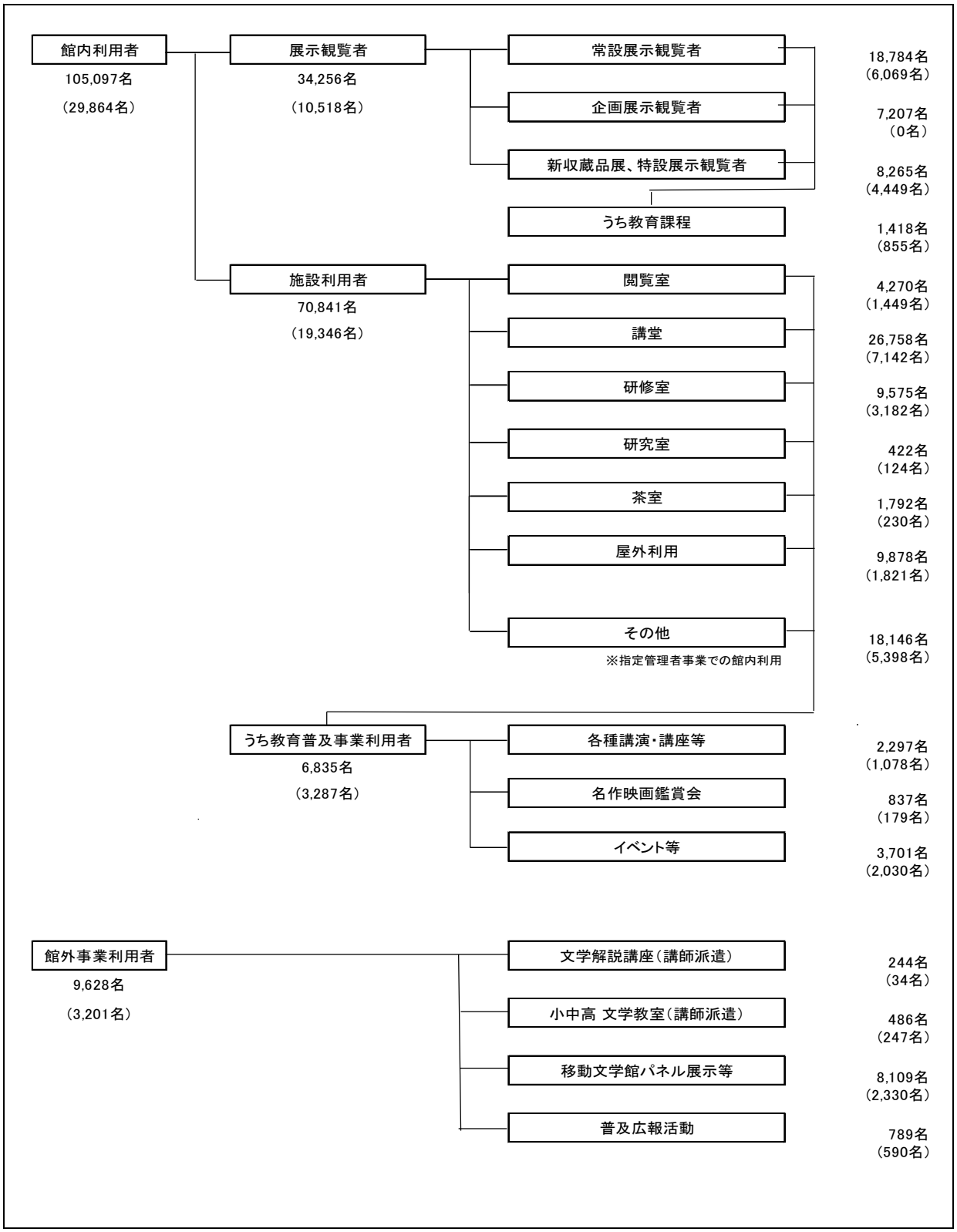
観覧者数の目標と実績

年度	展示種別・名称		目標	実績	達成率 %	
R8年度	常設展		19,000	8,533	44.9	
	企画展	かがくいひろしの世界展	20,000	8,966	44.8	（開催中）
	特設展	昭和文学をふり返る	3,500	3,123	89.2	
		一葉さん、おじゃまします	5,000	ー	－	
	新収蔵品展（LED化工事のため、開催なし）		ー	ー	－	
	合　　計		47,500	20,622	43.4	
R7年度	常設展		18,900	18,784	99.4	
	企画展	ベストセラー誕生！「南総里見八犬伝」の世界	6,500	7,207	110.9	
	特設展	時空を旅する作家　辻邦生展　生誕100年	3,700	3,449	93.2	
		作家の絵ごころ	3,800	2,696	70.9	
	新収蔵品展		2,400	2,120	88.3	
	合　　計		35,300	34,256	97.0	
R6年度	常設展		18,000	16,662	92.6	
	企画展	金子兜太展　しかし日暮れをいそがない （開館35周年記念）	6,400	3,810	59.5	
	特設展	中村星湖展　生誕140年　歿後50年	3,500	2,758	78.8	
		文学はおいしい	4,200	3,865	92.0	
	新収蔵品展		1,800	2,312	128.4	
	合　　計		33,900	29,407	86.7	
R5年度	常設展		17,500	21,300	121.7	
	企画展	ふしぎ駄菓子屋　銭天堂へようこそ	13,541	20,704	152.9	
	特設展	文豪の筆跡　館蔵の名品から	2,000	3,039	152.0	
		それぞれの源氏物語	5,000	4,530	90.6	
	新収蔵品展		1,959	2,950	150.6	
	合　　計		40,000	52,523	131.3	
R4年度	常設展		14,500	16,336	112.7	
	企画展	樋口一葉展　生誕150年	6,900	4,737	68.7	
	特設展	芥川龍之介　生誕130年 旅の記憶展	4,000	5,287	132.2	
		文学雑誌からZINE（ジン）へ	3,700	4,198	113.5	
	新収蔵品展		－	－	－	（開催なし）
	合　　計		29,100	30,558	105.0	

●目標人数は、指定管理者の掲げる業務計画目標人数

文学館における「利用者」の状況

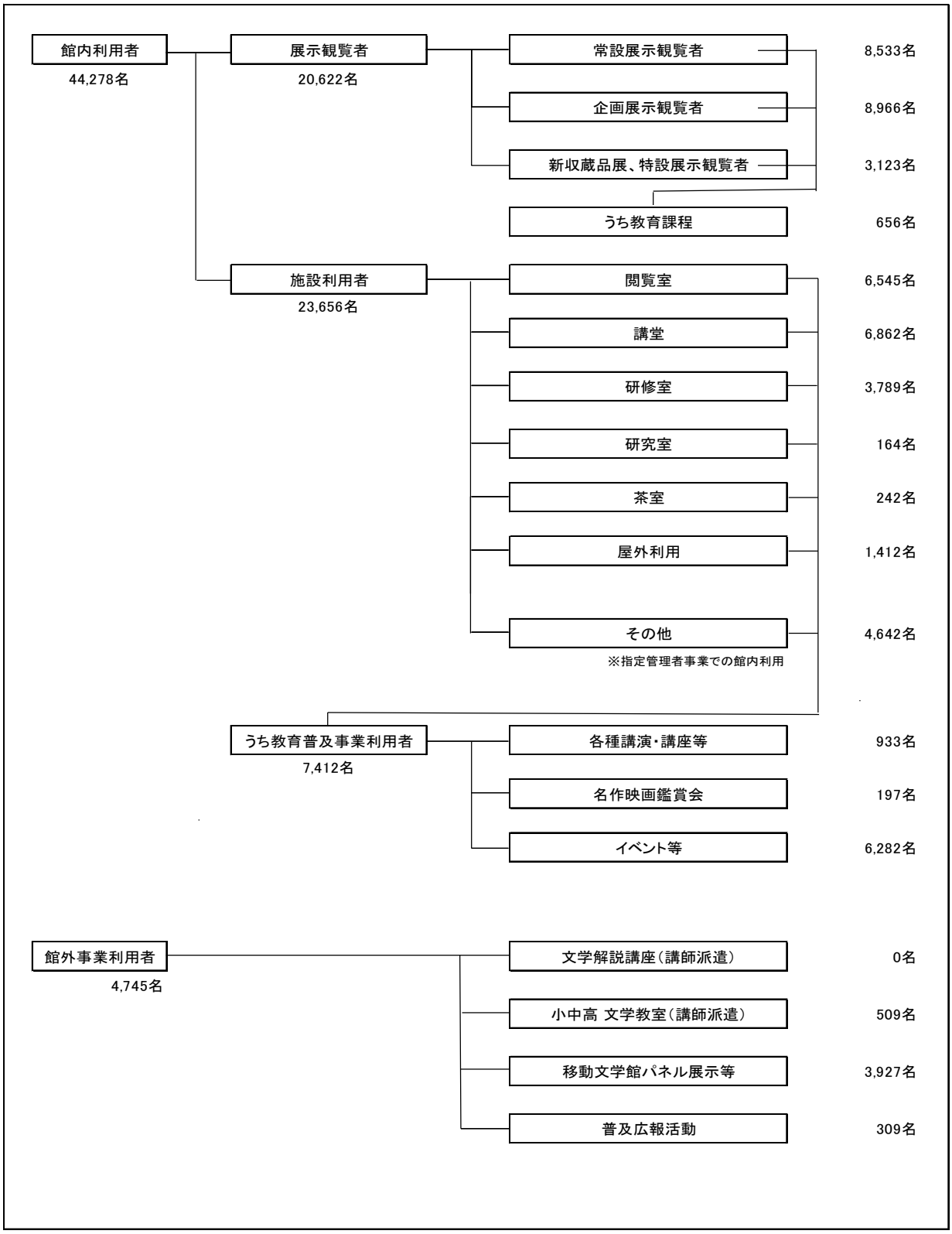
令和７年度実績　　（　）内は令和７年７月末時点



〇文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館における「利用者」の状況

令和８年７月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館活動目標

山梨県総合計画（第二次）では「文化施設において各館の特色を生かした展示などが行われるとともに、関連分野との連携により、豊かで活力ある地域社会が実現」することを目指すべき将来像に掲げています。
そこで文学館の活動目標を、次のとおり掲げます。

【展示／見る】
魅力あるテーマによる「企画展」「特設展」の開催と、収蔵品を生かして山梨県出身・ゆかりの文学者を紹介する「常設展」の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】
社会教育・学校教育と連携をはかり、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

【資料情報／収集・保存・公開】
山梨県出身・ゆかりの作家、作品に関わる資料を中心に収集・保存していくと同時に、広く公開して活用を図る。

【付加価値・魅力／たのしむ】
文学館及び芸術の森公園に、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行い、文化観光の拠点をめざす。

令和7年度の活動状況　【展示/見る】

【企画展・特設展】

特設展「時空を旅する作家　辻邦生展　生誕100年」 4月26日～6月22日

特設展「作家の絵ごころ　視覚で楽しむ文学展」 7月12日～8月24日

企画展「ベストセラー誕生！「南総里見八犬伝」の世界」 9月13日～11月24日

「新収蔵品展　創作の生まれるところ」 1月31日～3月22日





企画展「ベストセラー誕生！『南総里見八犬伝』の世界」

令和7年度の活動状況

【展示/見る】

【常設展】

・3月、6月、8月、12月の4回、一部の資料入れ替えを実施。
第1室　テーマ展示を次のとおり実施
春　飯田蛇笏　生誕140年
夏　戦後80年　文学者と疎開　井伏鱒二・太宰治
秋　戦後80年　文学者と疎開　金子光晴
冬　自由律の俳人・秋山秋紅蓼

・夏と秋のテーマ展示では、戦後80年を迎え山梨に疎開した文学者を紹介。
夏は甲府に疎開し、ともに甲府空襲に遭った井伏鱒二と太宰治、
秋は山中湖村に疎開した金子光晴の資料を展示した。



夏　戦後80年　文学者と疎開　井伏鱒二・太宰治



秋　戦後80年　文学者と疎開　金子光晴

令和7年度の活動状況

【教育普及/学ぶ】

【年間文学講座】

講座2（近現代文学）
「私の出会った作家たち
　創作の現場から」（年8回）

講師　前田速夫
　（文芸雑誌「新潮」元編集長）



【企画展「ベストセラー誕生！「南総里見八犬伝」の世界」 関連講演会】



講談教室

・講演会
高橋源一郎氏（小説家）
服部仁氏（企画展編集委員）
鈴木俊幸氏（企画展編集委員）

・ワークショップ　消しゴムはんこ

・講談教室

令和7年度の活動状況　【資料情報/収集・保存・公開】

【閲覧室資料紹介】

「辻邦生を読む」4月25日～6月22日
「装幀を楽しむ」7月11日～8月24日
「どうぶつとぶんがく」9月12日～11月24日
「没後50年　檀一雄の世界」1月2日～3月22日



閲覧室資料紹介「どうぶつとぶんがく」

【昭和100年記念資料紹介】

「戦後80年　戦争と文学」8月27日～9月10日
「芥川賞・直木賞でふり返る昭和の文学」
11月27日～12月25日
「雑誌に見る昭和の文学―ベストセラー作品の出発点」3月25日～4月22日

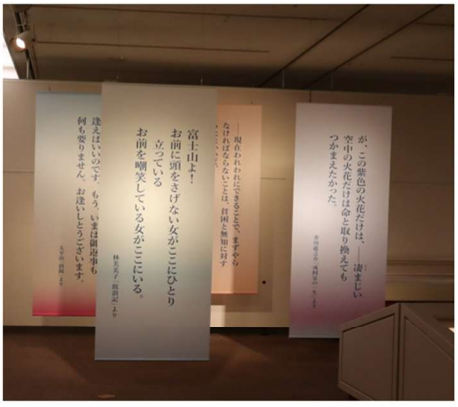


昭和100年記念資料紹介
「芥川賞・直木賞でふり返る昭和の文学」

令和8年度の活動状況　【展示/見る】

【特設展】
「昭和文学をふり返る　収蔵資料より」4月25日～6月14日





昭和元年（1926年）から数えて百年を迎える今年、戦争をはさんで大きな時代の変化とともに生み出されてきた昭和の文学を、小説を中心に芥川龍之介・谷崎潤一郎・井伏鱒二・太宰治・檀一雄・武田泰淳・深沢七郎・山本周五郎・津島佑子・李良枝などの収蔵資料とともにふり返りました。

令和8年度の活動状況　【展示/見る】

【企画展】
「日本中を笑顔にした絵本作家　かがくいひろしの世界展」
7月4日～9月23日（開催中）





©Hiroshi Kagakui

累計発行部数1000万部を突破した「だるまさん」シリーズの作者かがくいひろし。全16作品の原画やアニメーションで絵本の世界をお楽しみいただくとともに、特別支援学校の教員時代に手がけた教材などから、創作の原点に迫ります。

令和8年度の活動状況・予定　【展示/見る】

【特設展】
「一葉さん、おじゃまします　～模型と写真で再現する樋口一葉の世界～」
10月10日～12月13日



三浦宏作　にごりえ」の舞台となった銘酒屋・菊の井



田所美恵子撮影「にごりえ」の舞台となった銘酒屋・菊の井の一階

檜細工師三浦宏が制作した樋口一葉の本郷丸山福山町の家、小説「大つごもり」の山村家、「にごりえ」の銘酒屋･菊の井の模型を、模型の細部を針穴写真家田所美恵子が撮影した写真とあわせて展示。細部まで作り込まれた模型と針穴写真の静謐な空間により、明治時代の暮らしと息づかいを感じてください。

令和8年度の活動状況・予定

【展示/見る】

【常設展】
・年4回（3月、6月、8月、12月）一部展示替え
・第1室にテーマ展示のコーナーを設置
　春　檀一雄　歿後50年　3月10日～5月31日
　夏　津島佑子　歿後10年　6月2日～8月30日（開催中）
　秋　芦澤一洋　歿後30年　9月1日～11月29日
　冬　宮沢賢治・保阪嘉内　生誕130年　12月1日～2月21日



檀一雄　歿後50年



津島佑子　歿後10年

令和8年度の活動状況

【教育普及/学ぶ】

【展覧会関連イベント】

特設展
「昭和文学をふり返る
　収蔵資料より」



◆5月30日
講演会
「『暗い昭和』と『陽だまりの昭和』のあいだ」
　講師：川本三郎（文芸評論家）



◆6月7日
　朗読公演会
　文学座「ひかりごけ」
　原作：武田泰淳

令和8年度の活動状況

【教育普及/学ぶ】

【展覧会関連イベント】

企画展「日本中を笑顔にした絵本作家
かがくいひろしの世界展」

◆7月25日
講演会「加岳井広を語る」
講師：水島尚喜
（絵本学会会長・本展監修者）



◆8月1日
読み聞かせワークショップ
絵本の世界をたのしむ〈おはなし会〉
対象：① 0～2歳児　② 3歳児以上
講師：当館職員（司書）



令和8年度の活動状況

【教育普及/学ぶ】

【博学連携】
県内の学校に、年間の事業、展示解説・出前事業・アウトリーチ（移動文学館）など提供できるプログラム、利用方法などを周知。



校外学習で来館した生徒
クイズを解きながら、常設展で山梨の文学者について学ぶ。



出前授業の様子

令和8年度の活動状況

【教育普及/学ぶ】

【ZINE作りワークショップ・ZINEフェスティバル】



創作と交流の場として令和3年度から実施

ワークショップ：ZINEを製作

フェスティバル：展示と配布の場



個人や団体のほか、県内の学校へ参加を呼びかけ、県立大、都留文科大、山梨英和大学、サンテクノカレッジ、笛吹高校、駿台甲府高校等が参加。

令和8年度の活動状況

【教育普及/学ぶ】

【創作教室】

◆短歌教室
高等学校文化連盟と共催で高校生参加枠を設け、一般とともに受講。

◆小説創作教室
「甲斐人の一撃」事業として、25歳以下の参加枠で実施。

◆初心者のための俳句教室



初心者のための俳句教室

【年間文学講座】

◆講座１（古典文学）年8回
平安朝の娘と父親―『源氏物語』と『栄花物語』を中心に―
講師：池田尚隆（山梨大学名誉教授）

◆講座２（近現代文学）年8回　「日本近代文学と美術」
講師：野口哲也（都留文科大学教授）

◆講座３（作家と作品）年5回　講師：当館学芸員

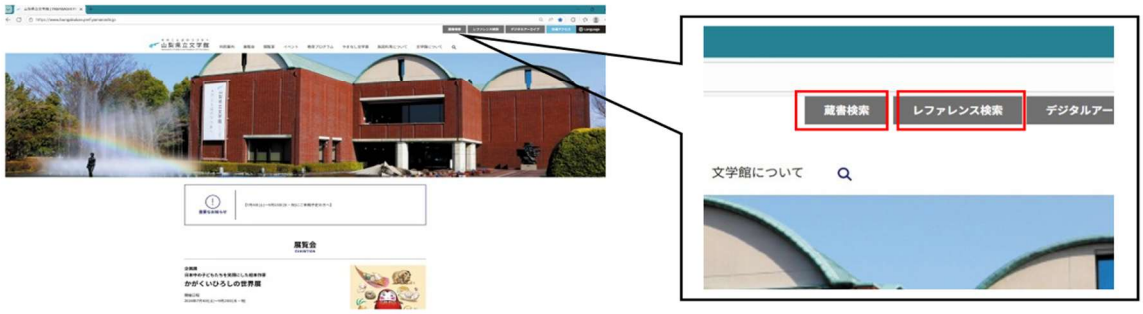
令和8年度の活動状況　【資料情報/収集・保存・公開】

【閲覧室事業】

収蔵資料の閲覧、情報の提供、レファレンスサービス、複写サービスを実施。

資料の情報は、文献検索システムにより管理し、文学館HPの「蔵書検索」ページで公開。

レファレンスの事例を、文学館HPの「レファレンス検索」で公開。



令和8年度の活動状況　【資料情報/収集・保存・公開】

【閲覧室資料紹介】
収蔵する図書・雑誌を手に取って閲覧できる展示コーナーを随時設営。







閲覧室資料紹介「昭和文学再発見」



閲覧室資料紹介「こどもの本の世界」

令和8年度の活動状況 【資料情報/収集・保存・公開】

【閲覧室ミニ資料紹介】

常設展テーマ展示「津島佑子 歿後10年」に合わせて資料を紹介中。



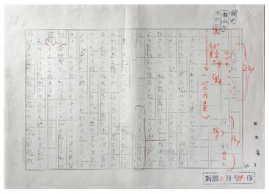
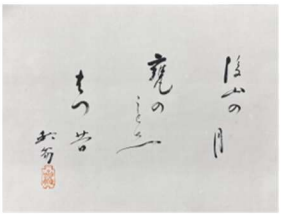
【閲覧室トーク】

閲覧室の事業を紹介する、閲覧室トークの実施。



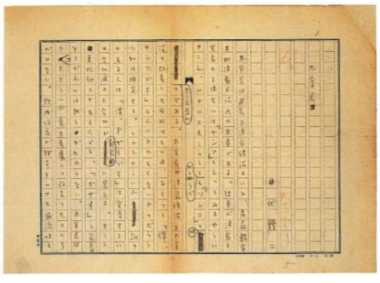
展示事業

令和7年度

特設展 時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年	特設展 作家の絵ごころ 視覚で楽しむ文学展	企画展 ベストセラー誕生！ 「南総里見八犬伝」 の世界	新収蔵品展 創作の生まれるところ
自主企画 常設展の一環として開催	自主企画 常設展の一環として開催	自主企画	自主企画 観覧無料
R7年 4月26日（土） ～6月22日（日）	R7年 7月12日（土） ～8月24日（日）	R7年 9月13日（土） ～11月24日（月・振休）	R8年 1月31日（土） ～3月22日（日）
51日間	39日間	63日間	43日間
3,449人	2,696人	7,207人	2,120人
作家・辻邦生（1925～1999）の生涯と代表作を紹介した。 辻邦生資料を所蔵する学習院大学史料館の全面的な協力により、原稿、創作ノート、書簡などの直筆資料、愛用品などを展示。 生誕100年のメモリアルイヤーにあわせて、ゆかりのある各地で行われる展覧会と連携を図った。	作家の中には、自ら好んで絵を描いたり、著書の装幀に自身の美意識を反映させるなど、美術に深く心を寄せる人がいた。 夏目漱石、芥川龍之介など作家の描いた絵や、本や雑誌の装幀・挿絵の原画、作家と画家の交流を表す書簡など、文学と美術の豊かなコラボレーションの世界を紹介した。	江戸時代後期、曲亭馬琴が執筆した「南総里見八犬伝」は、全106冊に及ぶ長編小説で、時代を超えて多くの読者を獲得しベストセラーとなった。 明治以降も多くの作家を刺激し、コミックや映画などにも登場した。現在も人々を魅了し続ける「八犬伝」の魅力を紹介した。	令和７年に新たに収蔵した資料より、樋口一葉・飯田蛇笏・芥川龍之介・村岡花子・山本周五郎・山崎方代・飯田龍太などの、原稿や手紙、書画などを展示。 直筆の資料から作品が生み出されるところを想像してもらい、親しみやすい表示や表現により、気軽に観覧してもらえるよう文学資料を紹介した。
 辻邦生「銀杏散りやまず」第1回原稿 学習院大学史料館蔵	 芥川龍之介　風景画 1909（明治42）年 当館蔵	 二代目歌川国貞 「八犬傳犬の草紙の内 犬塚信乃戌孝」 個人蔵	 飯田蛇笏 「後山の月甕のごとしはつ昔」　軸装

展示事業

令和8年度

特設展 昭和文学をふり返る ― 収蔵資料より	企画展 日本中の子どもたちを 笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展	特設展 一葉さん、おじゃまします ～ 模型と写真で再現する 樋口一葉の世界～
自主企画 常設展の一環として開催	巡回展	自主企画 常設展の一環として開催
令和8年 4月25日(土) ～ 6月14日(日)	令和8年7月4日 (土) ～ 9月23日 (水・祝)	令和8年10月10日 (土) ～12月13日 (日)
45日間	72日間	56日間
3,123人	8月11日現在 14,012人	開催予定
今年、2026年は、昭和元年（1926）から100年を数える。戦争をはさんで大きな時代の変化とともに生み出された昭和の文学を、芥川龍之介、井伏鱒二、太宰治、檀一雄、武田泰淳、山本周五郎、津島佑子、李良枝などの収蔵資料を中心にふり返った。	累計1000万部を突破した絵本「だるまさん」シリーズの作者かがくいひろしは、特別支援学校の教員として長年勤務し、50歳で絵本作家としてデビューした。障がいのある子どもたちと向き合い、ともに過ごした経験は、珠玉の絵本の数々を生み出した。本展では、原画やアニメーションで絵本の世界を楽しんでいただくとともに、かがくいひろしがアイデアを描き溜めたノート、教員時代に手がけた教材などから創作の原点に迫る。	檜細工師三浦宏氏が制作した一葉の小説「にごりえ」の舞台となる銘酒屋・菊の井や「大つごもり」の山村家、終の棲家となった本郷丸山福山町の家の模型、あわせて3棟と共に、田所美恵子氏がその内部や外観を自作のカメラで撮影したモノクロプリントの針穴写真を展示。一葉が暮らし、描いた明治の家のたたずまいと人々の暮らしの様子を味わうことのできる展示とする。
 井伏鱒二 「太宰君」原稿	 ©Hiroshi Kagakui	  菊の井模型と二階座敷の針案写真

令和8年度　教育普及事業の実施状況と今後の予定(7月末現在)

分類	事業名	内容	開催日等	会場	参加人数	合計
年間文学講座	講座１ 平安朝の娘と父親 ―『源氏物語』と『栄花物語』を中心に― 講師：池田　尚隆 （山梨大学名誉教授）	①教育、結婚と後見	5月9日(土)	講堂	63人	196人
		②密通への怒り	6月13日(土)		66人	
		③死後への不安	7月4日(土)		67人	
		④父親死後の不幸	8月22日(土)			
		⑤父の死後、面目を施した娘たち	9月19日(土)			
		⑥藤原道長の栄華と娘たち	10月10日(土)			
		⑦藤原道長と娘たちの死	11月14日(土)			
		⑧藤原公任・藤原行成・藤原斉信と娘	12月5日(土)			
	講座２ 日本近代文学と美術 講師：野口　哲也 （都留文科大学教授）	①明治期の文芸誌と口絵・挿絵	6月26日(金)	研修室	30人	59人
		②山田美妙・尾崎紅葉・幸田露伴と裸体画論争	7月24日(金)		29人	
		③森鷗外と西洋芸術	8月7日(金)			
		④正岡子規と写生絵画	9月11日(金)			
		⑤夏目漱石と西洋絵画	10月23日(金)			
		⑥浪漫主義文学と世紀末芸術	11月6日(金)			
		⑦白樺派と美術・工芸	12月11日(金)			
		⑧挿絵と版画　―恩地孝四郎・田中恭吉・木村荘八・棟方志功	1月22日(金)			
	講座３ 講師：当館学芸員	①特設展「昭和文学をふり返る」の見どころ 講師：高室有子	5月17日(日)	研修室	44人	75人
		②津島佑子の作品世界 講師：中野和子	6月21日(日)		31人	
		③企画展「かがくいひろしの世界展」の見どころ 講師：伊藤夏穂	8月9日(日)			
		④樋口一葉の住んだ家と物語の家 講師：保坂雅子	11月1日(日)			
		⑤『源氏物語』より ―花散里の人物像を読み解く 講師：進　実来	1月24日(日)			

分類	事業名	内容	開催日等	会場	参加人数	合計
特設展・企画展関連事業	特設展 昭和文学をふり返る ―収蔵資料より	教師のための学習会	5月19日(火)	特設展	7人	422人
		講演会 「暗い昭和」と「陽だまりの昭和」のあいだ 講師：川本三郎	5月30日(土)	講堂	117人	
		公演会 文学座「ひかりごけ」	6月7日(日)	講堂	265人	
		ワークショップ① 「保坂敏子俳句教室」 講師：保坂敏子	6月14日(日)	研修室	17人	
		ワークショップ② 「保坂敏子俳句教室」 講師：保坂敏子	7月5日(日)	研修室	16人	
	企画展 日本中の子どもたちを笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの 世界展	講演会　「加岳井広を語る」 ―言葉を越えた世界で― 講師：水島尚喜	7月25日(土)	講堂	130人	158人
		ワークショップ「消しゴムはんこ」 講師：アオヤギルミ	7月26日(日)	研修室	28人	
	特設展 一葉さん、おじゃまします～模型と写真で再現する樋口一葉の世界～	講演会　「針穴写真 －先祖返りの写真術－」 講師：田所美恵子	10月17日（土）	研修室		0人
		三浦佳子ギャラリートーク	11月8日（日） ①AM　②PM	特設展		
		教師のための学習会	10月15日(水)	特設展		
		ワークショップ 「かな文字で書く　樋口一葉」 講師：天野白汀	10月18日（日） ①AM　②PM	茶室		
		ワークショップ 「つまみ細工で桜 アクセサリーを作ろう」 講師：飯島　薫	10月25日（日）	研修室		
	テーマ展示 「宮沢賢治と保阪嘉内 生誕130年」	宮沢賢治作品、保阪嘉内宛書簡の朗読 講師：原きよ	2月中旬予定	講堂		
名作映画鑑賞会	一般向け	「山と谷と雲」	5月23日(土)	講堂	197人	197人
	子ども向け	「かがみの孤城」	8月2日(日)			
	一般向け	「マチネの終わりに」	10月11日(日)			
	一般向け	「銀河鉄道の父」	2月6日(土)			
文学創作教室	小さな本(ZINE)作り教室	講師：吉田朝麻	7月18日(土)	研修室	43人	593人
	初心者短歌教室	講師：三枝浩樹	5月16日(土)		21人	
			6月27日(土)		20人	
	小説創作教室 未来の小説家たちへ	①講師：川上健一	8月8日(土)			
		②講師：川上健一	10月24日(土)			
	短歌教室	講師：三枝昂之	9月5日（土）			
	短歌教室	講師：三枝浩樹	11月21日(土)			
出前講座	小中高文学教室	県内小中高等学校	9回	各校	509人	

分類	事業名	内容	開催日等	会場	参加人数	合計
文学解説	展示解説 （一般向け）		0回	常設展 特設展 企画展		562人
	展示解説 （小中高大学生向け）	学生への展示解説	17回		562人	
チャレンジクイズ	特設展	「昭和文学をふり返る」	4月25日- 6月14日	特設展	515人	5,697人
		「一葉さん、おじゃまします」	10月10日- 12月13日	特設展		
	企画展	「かがくいひろしの世界展」	7月4日- 9月23日	企画展	4,450人	
	チャレンジ文学館 （わたしはだあれ？）	小中高一般	通年	常設展	546人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の森公園	186人	
実習受入	ジュニアインターンシップ	中学生5人　　高校生3人	7月29，30，31日		20人	38人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の実習 （3人×6日）	7月17日- 23日		18人	
その他	アウトリーチ （移動文学館）	小中高　9校	通年		3,927人	4,760人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、交流会	7月19日（日）	研修室	510人	
	やまなし文学賞関係	運営委員会	5月8日（金）	研修室	14人	
	教育センター共催研修	閲覧室・展示室見学	7月22日（水）	研修室	11人	

12,757人

令和８年度　閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

	タ　イ　ト　ル	展　示　期　間	備　考
1	昭和文学再発見	令和8年4月24日(金)～6月14日(日)	特設展「昭和文学をふり返る－収蔵資料より」」関連
2	こどもの本の世界	令和8年7月3日(金)～9月23日(水・祝)	企画展「かがくいひろしの世界展」関連 ※夏のデコしおりをつくろう
3	樋口一葉の時代を楽しむ	令和7年9月12日(金)～11月24日(月・振休)	特設展「一葉さん、おじゃまします」関連
4	没後60年　山本周五郎	令和9年1月21日(木)～3月22日(月・振休)	

◆ 山梨ゆかりの文学者資料紹介

	展　　示　　名	展　示　期　間	備　考
1	桜花爛漫　宇野千代の人と作品	令和8年9月26日(土) ～令和9年2月25日(木)	没後30年 朝ドラ「ブラッサム」モデル
2	戦後俳壇の雄　飯田龍太	令和9年3月25日(木)～4月22日(木)	没後20年

◆ その他の資料紹介

	タ　イ　ト　ル	展　示　期　間	備　考
1	雨を楽しむ文学	令和8年6月17日(水)～7月1日(水)	
2	津島佑子 歿後10年	令和8年6月17日(水)～8月30日(日)	ミニ資料紹介 夏の常設展テーマ展示関連
3	文学deお正月	令和8年12月25日(金)～1月11日(月)	
4	県人著作コーナー	通年(4期に分けて入替え)	

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介。

令和8年度は、5月3日(日・祝)、7月12日(日)、11月20日(金・県民の日)に実施。

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況（内訳）

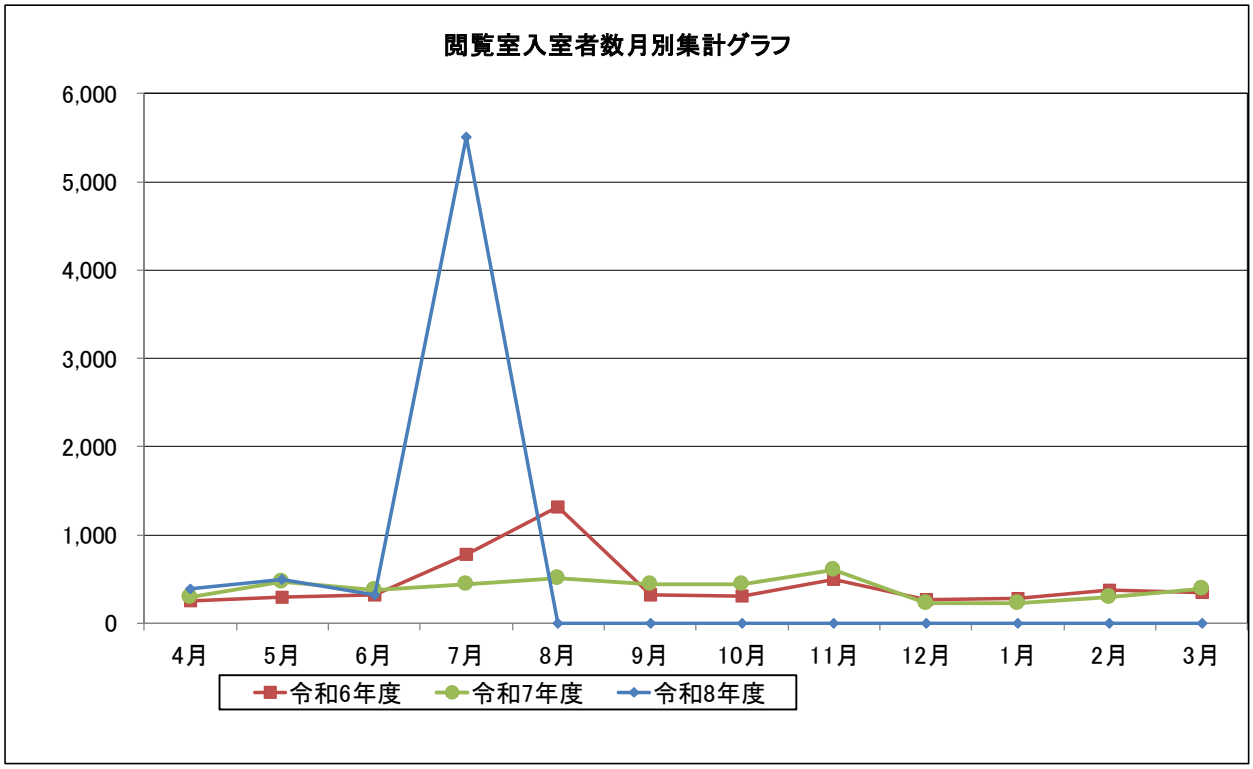
（R8.7.31現在）

	開館日数	入室者数	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談件数	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
令和6年度	303	5,350	56	264	781	518	1,884	20	782	560
令和7年度	303	4,692	54	277	1,634	379	2,024	371	740	587
令和8年度	106	6,709	28	96	326	126	375	0	239	282

閲覧室入室者（月別）

単位：人（R8.7.31現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
令和6年度	253	295	319	784	1,316	320	302	492	266	278	378	347	5,350	18
令和7年度	299	468	368	438	512	435	436	599	222	229	294	392	4,692	15
令和8年度	384	494	320	5,511	0	0	0	0	0	0	0	0	6,709	63



調査相談（口頭・電話・手紙・FAX・メール）（月別）

単位：件（R8.0.0現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
令和6年度	38	54	45	46	52	39	37	37	44	30	57	39	518	1.7
令和7年度	39	35	36	24	44	14	36	41	21	32	35	22	379	2.8
令和8年度	26	31	26	43	0	0	0	0	0	0	0	0	126	1.2

複写枚数（電子式・マイクロ）（月別）

単位：枚（R8.0.0現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
令和6年度	13	357	162	81	160	263	124	11	161	176	277	119	1,904	6.3
令和7年度	16	53	142	226	381	214	163	42	137	123	183	371	2,051	6.8
令和8年度	79	169	65	62	0	0	0	0	0	0	0	0	375	3.5

令和8年度　上半期

文学館協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園指定管理者
芸術の森みらいデザイン

令和8年8月28日(金)

◆目次

１．　令和7年度の指定管理事業
広報活動／事業

２．　令和8年度の指定管理事業
広報活動／事業

2

1-1. 広報活動（令和7年度 1-3月）

文学館観覧者実績

	年度目標	年度実績	目標比	1-3月目標	1-3月実績	目標比
常設展	18,900	18,784	99%	2,600	3,094	119%
特設展・企画展	16,400	15,472	94%	2,400	2,120	88%
観覧者数合計	35,300	34,256	97%	5,000	5,214	104%

特設展・企画展	会期	観覧者目標	実績	目標比
新収蔵品展	1/31(土)～3/22(日)	2,400	2,120	88%

※目標値は県予算の数字をもとに、館内の会議で決定

新収蔵品展　創作の生まれるところ(観覧無料)







展覧会チラシ

・文学館への来館経験が少ない方をターゲットに、
敷居が高いと思われがちな文学館のハードルを下げることを
目的とした施策を実施。

・インスタグラム　動画投稿6回実施
「文学館っておもしろい！」をテーマに、見どころのポイントを
動画で紹介。高いインタラクション率を獲得(平均5.8%)。

・同時期に開催の季節イベント「雛飾り＆布飾り」からの誘客。
積極的なお声かけなどにより、雛飾りの観覧者のうち約6割が
「新収蔵品展」も観覧。

1-2.事業報告（令和7年度　1-3月）

地域貢献

くがわしんとく幼稚園連携展示
「しんとくせんたい にじいろレンジャー in 芸術の森公園」（2月21日～23日）





バラ園のアーチ





三角形の植木







彫刻作品

芸術の森公園に隣接する「くがわしんとく幼稚園」と協働
園児たちが制作した公園を舞台にした立体作品を文学館で展示。
公園内の樹木や彫刻などの特徴を精細に捉えており、
公園への愛着が感じられる楽しい作品で、展示場所は実際の公園と立体作品とを交互に眺められる文学館2階ロビーとした。

ターゲットを絞った広報展開
文学館や幼稚園のSNSを活用したターゲットを絞った広報が功を奏し、
わずか3日間の開催ながら、242人もの方にご覧いただいた。
文学館の来館機会の創出につなげることができた。

県が目指す地域貢献を実現＆展覧会への誘導
園児の親・兄弟・祖父母の姿も見受けられ、幼稚園との関係や地域連携の強化にもつながった。
また、作品展示観覧者の半数近い102人を「新収蔵品展」へ誘導することができ、展覧会広報としても大きな成果となった。

2-1.広報活動（令和8年度　4-6月）

文学館観覧者実績

	年度目標	年度実績	目標比	4-6月目標	4-6月実績	目標比
常設展	19,000	4,749	25%	4,960	4,749	96%
特設展・企画展	28,500	3,123	11%	3,500	3,123	89%
観覧者数合計	47,500	7,872	17%	8,460	7,872	93%

特設展・企画展	会期	観覧者目標	実績	目標比
昭和文学をふり返る	4/25(土)～6/14(日)	3,500	3,123	89%

※目標値は県予算の数字をもとに、館内の会議で決定

【特設展】昭和文学をふり返る　収蔵資料より



展覧会チラシ

・県内報道機関の取材獲得実績

5/29(金)朝7:30から放送の「NHKニュース おはよう首都圏(関東甲信越)」にて紹介された他、以下の媒体に記事を掲載することができた。

・テレビ…3件　・ラジオ…1件　・新聞…14件　・WEB…13件　・市町村広報誌…2件

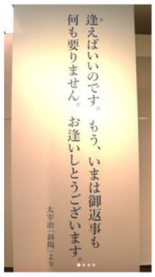
・Instagramへの反響

展覧会の見どころなどを紹介し、計8回の投稿は平均で高い閲覧率とリーチ率を獲得した。

閲覧率…平均98%（70%超なら高表示率）
リーチ率…平均55%（標準20～40%）
インタラクション率…平均6%(平均2～5%)

太宰治の作品から引用した文章を載せたバナーの投稿は特に反響が大きく、27,000回閲覧されたものの、インタラクション率(興味関心の指標)は3%で平均レベルにとどまった。

投稿内容への興味をどう観覧につなげていくかが今後の課題であり、動画なども活用しながら、文学館ならではの対策を見極めていきたい。



Instagram
掲載画像
（展示室バナー）

5

2-2.事業報告（令和8年度　4-6月）

特設展「昭和文学をふり返る」関連事業　昭和レトロな食品サンプルをつくろう（5月31日）

【実施目的】 開催中の特設展のテーマに合わせ、「昭和」の雰囲気を醸成し、幅広い年齢層の来館機会の創出につなげる

参加者数実績	食品サンプルワークショップ	昭和レトロミニ展示	参加者数合計
	39	131	170

・前回の反省から、完全予約制で開催

前回（2024年）の開催時は、自由参加としたことで想定をはるかに超える方が集まり、長時間の待機時間が発生するなど大きな混乱を招いたため、完全予約制で実施した。結果、待機時間も発生せず、落ち着いた環境での作業が実現し、講師の負担軽減にもつながった。

・効果的な広報により、受付開始日に満席に

親子をターゲットとし、近隣の小学校にチラシの発送を行ったほか、Instagramでの事前告知の反響も大きく、申込み受付開始日に満席となった。

・より昭和を実感できる「昭和レトログッズのミニ展示」も同時開催

黒電話やレコード、前回の東京オリンピック(1964)の記念冊子等、約10点を展示。昭和世代だけでなく、子どもたちが黒電話のダイヤルを興味津々に回す様子が見られるなど、幅広い世代に「昭和」を感じていただき、雰囲気を醸成することができた。

・成果と課題

平成育ちの親世代も巻き込み、普段文学館に来る機会が少ない層の来館機会を醸成できた。一方、小学校ごとに対応が異なり、チラシを見たことがなかったという声もいただいた。ターゲット個々に確実に情報を届ける方策が今後の課題と考えている。



ワークショップの様子


昭和レトロミニ展示



イベントチラシ

6

2-3.事業報告（令和8年度　4-6月）

地域連携イベント「七夕 短冊に願いをこめて」（6月23日~8月11日）

【実施目的】
・令和8年度の事業計画書で掲げている「パブリックスペースの活用」および「地域との連携・貢献」の実現。
・商店街や小学校との連携強化及び各会場との相互誘客。

【実施内容】
甲府市の朝日通り商店街、甲府商店街連盟、山梨県立図書館と連携した七夕イベントを実施。
朝日通り商店街では、毎年近隣の小学校と連携して、児童が書いた短冊を街路樹のハナミズキに飾るイベントを実施している。
文学館のほか、甲府商店街連盟や県立図書館とも連携し、規模を拡大して開催。
文学館では、新田小学校の協力で、くつろぎスペースに短冊を展示した。

新田小学校との連携強化
全校児童81名が「将来の夢」について書いた短冊を、七夕のタペストリーに飾りつけて展示した。市内で広く連携した取り組みであることに理解をいただき、同校との連携をさらに深めることができた。



各会場との連携のための工夫
全会場共通のチラシを作成し各会場に設置した。文学館では朝日通り商店街の取り組みをパネルで紹介し、一体感を演出するとともに各会場への周遊と相互誘客を図った。



2-4.広報活動（令和8年度　7月）

文学館観覧者実績

	年度目標	7月目標	7月実績	7月目標比
常設展	19,000	1,230	3,784	308%
企画展	20,000	6,000	8,966	149%
観覧者数合計	39,000	7,230	12,750	176%

特設展・企画展	会期	観覧者目標	実績	目標比
かがくいひろしの世界展	7/4(土)~9/23(水・祝)	20,000	8,966	45%



テープカットの様子

企画展「かがくいひろしの世界展」



展覧会チラシ

オープニングセレモニーの話題作りのため、近隣幼稚園の園児を招待
文学館隣のくがわしんとく幼稚園の協力で、園児の皆さんにテープカットに参加いただき、オープニングセレモニーを開催。山梨放送の取材が入り、当日夜のYBSワイドニュースでセレモニーの様子が放送された。

オンラインプレスリリースの配信により県内外メディアへ情報を掲載
通常の配信先に加え、子育て世代向けの情報ウェブサイトにもアプローチし、展覧会情報を掲載できた。
【取材獲得実績】 ・テレビ…1件 ・雑誌…2件 ・新聞…14件 ・WEB…20件（7月末時点）

Instagramで認知拡大に貢献
事前告知の段階から大きな反響があり、前売券の案内を投稿後に売上げが急激に伸びるなど、ファミリー層に対して有効な広報ツールであることがわかった。
投稿はいずれも平均を大きく上回る高い閲覧率とリーチ率を獲得し、展覧会の誘客に貢献することができた。

閲覧率…平均236%（70%超なら高表示率）
リーチ率…平均127%（標準20~40%）
インタラクション率…平均4.49%(標準2~5%)

レストランで連動企画を実施
県立美術館のレストラン COLEREにて、イベント「手話カフェ だるまさんver.」を実施。
また、展覧会にちなんだ特別メニュー“だるまさんが転んだそーだ”を提供するなど、文学館と美術館との回遊性向上を狙う。

